

短歌二首

二二一番

去年こそぞ見みてし 秋あきの月つくよ夜よは 照てらせども 相あひ見みし妹いも
は いや年とし離さかる

二二二番

衾ひきまじり道みちを 引ひき手ての山やまに 妹いもを置おきて 山やま道みちを行ゆけば
生いけりともなし